



厳しい寒さも緩みはじめ、少しずつ春の足音が近づいてきました。子どもたちは進学・進級に期待をし、みんなで遊ぶ時間を大切にしながら元気いっぱい過ごしています。



生活発表会では、たくさんの観覧ありがとうございました。子どもたちが一生懸命頑張ってきた成果を見て頂くことが出来たと思います。生活発表会も終わり、

いよいよきりん組は小学校へ進学、ぱんだ組はきりん組に進級します。「小学校へ行ったらみんなで遊べなくなるな」「もうちょっとしたらきりん組になる！」など、期待をする声や、もうすぐお別れをする寂しさなど、様々な声が聞こえるようになりました。残りの園生活を友だちや保育教諭と十分に関わって過ごせるように、出来るだけ園庭や保育室での自由遊びをして過ごすようにしました。自由遊びでは、それぞれ違う考えを持った子どもたち同士が関わり合います。そうすることで遊びが発展していき、継続性のある遊びが見られ、より遊びの内容が深くなっていきます。保育教諭に頼りっきりになるのではなく、子どもたちが主体となり、自分たちで考えながら自立して遊んでいる姿を見て、この1年での成長を感じることが出来ました。

みんなでドッチボールをしていました。

Aくん「なあ、どうやったら勝てるん？」
 Bちゃん「最初に当てられたら勝てるんやで！」
 Aくん「なんでや！当てられたらじゃなくて当てたら勝てるんやろ？」
 Bちゃん「当てられたらやで！だって先に当てられたら仲間を助けようとしてみんな頑張るやん！だから勝てるんやで！」
 Aくん「あーなるほど・・・」

きりん組・ぱんだ組が行っているドッチボールは、当てられた人同士がじゃんけんを行い、勝った人はコートに戻れるルールで行っています。“どうやったら勝てるか”と聞くと、“頑張って早いボールを投げて当てる！”という子がほとんどですが、Bちゃんの“当てられたら勝てる”という発想が独特で面白いなと感じました。この考えのように、感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにしていきます。

また、この年齢のドッチボールは、我先に一生懸命ボールを取って投げて当てようとする子がほとんどです。しかし、Bちゃんの“仲間を助けようとしてみんなが頑張る”という考え方は、個人プレーで勝つという考え方ではなく、チームで協力して勝つという考え方だということが伺えます。ドッチボールのようなチームで行う集団遊びには、このような学びや成長も見ることが出来ます。



- 2日(木) 卒園合同交流会
 ※舞鶴の丸山公園に行き、その後平こども園で給食を食べます。
 3日(金) ひなまつり
 9日(木) 交流給食
 14日(火) 体操教室
 15日(水) ありがとうクッキング(ぱんだ組) 身体測定
 16日(木) お誕生会・お別れ会
 17日(金) 卒園式
 21日(火) ~1号春休み
 31日(金) 修了式



- ・3月から卒園式練習が始まります。髪の毛の長い女の子はくくってきて下さい。
- ・ぱんだ組はありがとうクッキングの日までにクッキングの用意を持って来て下さい。

